

時 時間 所 場所 内 内容詳細 費 費用 定 定員 申 申し込み方法 プレ イ ガ イ ド 縮 締め切り 分 分野 対 対象 金 金額 問 問い合わせ・連絡先

告知 楽しい脳活性化体験



認知症予防として、脳トレやコミュニケーションを通して、みんなで大笑いをして楽しめる場所づくりをしています。時 7/20(土) 13時30分~15時30分 所 アオーレ長岡 第3協働ルーム 費 500円(材料費) 対 脳活性化ゲーム、103歳の男性のお話ほか 問 090-4926-4882(松本)

告知 世界えだまめ早食い選手権



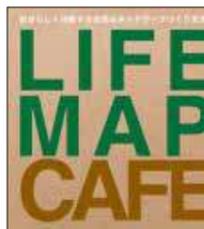
今年も開催!ザルに山盛りの「長岡枝豆スタイル」で、美しく、どれだけ早く食べられるかを競います! 全国から枝豆好きのファイターたちが集結。同日枝豆フードが楽しめるエダマメフェスタも開催! 時 7/21(日)10時~17時 所 アオーレ長岡 問 世界えだまめ早食い選手権HPの問合せから

告知 学びの場 市民協働センターの活用方法



新規の登録団体や市民活動に興味を持っている人をはじめ、すでに長く活動しているみなさまにも役立つセンターの利用方法をご紹介します。時 7/23(火)19時~20時 所 ながおか市民協働センター 第1協働ルーム 費 無料(要申込) 問 ながおか市民協働センター ☎0258-39-2020

告知 LIFEMAPCAFE



長岡市を中心に活動している女性をゲストに迎えトークライブ&交流会を開催します。「自分らしく生きる人」に会いにきませんか? 時 7/28(日)9時~12時 所 ミライエ長岡5Fスタジオ 対 市内に居住または勤務・通勤する、高校生~概ね50歳の女性 費 無料 問 30名 ☎0258-39-2020(田中)

募集 中学生・高校生のための ワールド・リーダーズ・セミナー



JICAスタッフや研究者として国際的に活躍されている先生方のお話を聴いて、自分らしく夢をかなえるためのヒントと一緒に見つけてみませんか? 全3回。市内研修7/25(木)・8/21(水) / 東京日帰り研修8/22(木) 費 10,000円 対 15名(応募多数の場合は抽選) 時 7/11(木) 問 長岡市国際交流協会 ☎0258-39-2207

募集 令和6年度 長岡まちなか若者事業 サポート支援金



若者による、まちなかの活性化や魅力発信に繋がる事業や取り組みにかかる費用を支援します。時 7/15(月祝) ①・②に該当する個人・団体①申請者が16歳以上40歳未満であること②16歳以上40歳未満の者を主な対象として、まちなかにおける活動の支援を行う「スタート枠」上限5万円ほか 問 長岡市中心市街地活性化協議会事務局 ☎0258-39-2500

募集 プリDESTON BSmile 募金



国内の社会課題の解決に取り組んでいる非営利団体が対象です。時 8/9(金) 対 「環境」安心・安全なMobility社会」「地域社会」「AHL (Active and Healthy Lifestyle)とDE&I」「人財育成・教育」非営利団体(3年以上の活動実績および現在も継続的に活動実施していること) 助成金額上限1団体につき100万円、助成総額800万円 問 公益社団法人 日本フィランソロピー協会

募集 第30回 全日本丸太早切選手権大会の出場者



参加賞あり。入賞者には三島のお宝。優勝者にはさらに記念品を贈呈。時 8/11(日祝) 所 みしま体育館駐車場 特設会場 参加無料(ほうき1本とチリトリ持参) 対 120組(先着順) 問 申し込みフォームから 時 7/18(木) 問 各部門小学3年生以上 問 実行委員会事務局 ☎0258-42-2249

募集 新潟県中越地震20年プロジェクト メールマガジン会員募集



新潟県中越地震から20年という節目の年に、様々な方々が震災の当時のことを思い出したり、その後の歩みを振り返ったり、経験や教訓を確認したり、日頃の防災を実践するための情報・きっかけを提供するため、メールマガジンを配信します。問 プロジェクト実行委員会事務局(公益社団法人中越防災安全推進機構) ☎0258-39-5525

センターからのおしらせ! 越後長岡まちの駅シールラリー開催!



〈期間〉7/27(土)~9/1(日) 人や情報が集まる場所「まちの駅」では、まちの駅(実施駅)をめぐるご当地キャラシールを集めると、抽選で素敵な景品が当たる「シールラリーの旅2024」を開催します!



発行 カカカ ながおか市民協働センター

〒940-0062 長岡市大手通 1-4-10 シティホールプラザアオーレ長岡 西棟 3階 TEL: 0258-39-2020 Mail: contact@nagaokakyodo.net

毎週月曜17時頃からは「つなラジ」 FMながおか(80.7MHz)でオンエアしているながおか市民活動紹介番組「つながるラジオ」 第5月曜日を除く、約10分間をお楽しみに♪

本誌に掲載の方々にはコンテンツで動画を配信中!

配布場所 長岡市役所及び各支所、サービスセンターの他、市内図書館、コミセン、子育ての駅など公共施設に設置しています。

知る + つながる + 好きになる

ながおか市民活動情報誌



2024 7 July VOL.139

次世代とつくる協働の未来

take free

racotte

活動ピックアップ!

nagaoka

長岡地域

起業家マインドを醸成し 長岡を盛り上げる一歩に



リードオーガナイザー 井塚 杏奈さん、オーガナイザー 大兼 莉奈さん、オーガナイザー 辻 貴美花さん、スタートアップウィークエンド StartupWeekend 長岡

世界各国でも取り組まれている、週末でスタートアップ体験ができるイベントを、2022年から長岡でも開催しました。その場で組んだチームでアイデアをカタチにする過程は、気づけば全員が本気になるほど熱量と刺激がある3日間に。このイベントをきっかけに、他のアイデアコンペやプログラムに参加する人も増え、起業に限らずステップアップしたい人の後押しになっています。長岡の夏の定番イベントとして定着するよう、今後も続けていきたいです。

長岡 | みんなのSDGs



12 つくる責任 つかう責任

「地域を食べる」をデザインし 次世代につなぐ



ファームエイト 株式会社 FARM 8

執行役員 フードアドバイザー 石橋 てるみさん

「未来に土のある暮らしを残す」をモットーに、地域資源の活用を主軸とした商品開発、仕組み作りに取り組んでいます。酒粕から生まれた植物性ヨーグルトや、乾燥させた規格外の果物を日本酒カクテルにして楽しむ商品など、生産者の課題を消費者に喜ばれる形に変えることで三方よしを叶えます。地元食材で商品開発から販売までを考える出張授業などを通じて、子どもたちにも土にかかわる、土が残ることの大切さを伝えていきたいです。

## 地域の未来を育む、 新たな学びのかたち

田中 洋介さん(43歳)  
田中清助商店 代表取締役 / 子商塾



Tanaka Yousuke

1980年長岡市与板生まれ。家業であるお茶屋を営む傍ら、地元与板を拠点に地域を活性化する活動に取り組んでいる。

NAGAOKA PLAYERS

商いで  
つながる!  
田中洋介

活動の  
根っこ

田中洋介さんは、与板で江戸時代から続くお茶屋の8代目。東京で9年間システムエンジニアとして勤めたのち、2014年に地元へUターン就職しました。その後、会社員として働く傍ら地域の活動やながおか若者会議に参加。その中で多くの若い経営者と出会ったことが契機となり、家業を継ぐことを決意しました。この決断には親の代で歴史を途絶えさせたくないという想いも込められていました。

「与板には何も無い」という大人も多く、自分もその一人だったという田中さんですが、地元に戻ってきたことで地域の魅力を再認識したといいます。「自然や伝統、商店街があって歩



子どもたちが商品開発した「抹茶ココラテ」。興味を持ってもらえるよう工夫しながらPOPを手作りしました。

き回れる環境、地域の顔が見える関係性があるのが与板の良さ。その魅力が当たり前すぎて気づきにくい。だからこそ、子どものうちから地域の良さや、多様な人たちの存在を知って、与板を好きになってもらうことが大切だと考えています。そんな想いから学校の総合学習の先生を引き受け、地域の歴史や祭り、仕事の話などを伝えるなど積極的に地域の教育に関わっています。

2023年には、子どもたちに「お金」についての知識を身に付けてほしいと、地域の教育活動として「子商塾」を始めました。「子どもたちが自ら仕入れ、付加価値をつけて販売し利益を得る」体験を通して、商いの視点と経済的な知識を身に付けようという取り組みです。イベントでどんなドリンクを販売したいかを考えてもらい、試作を重ねオリジナルドリンクを考案。価格設定やイベント当日の呼び込み・販売も子どもたちが行いました。「子どもたちが、楽しみながら取り組む姿や、反省と改善を繰り返し、お金を稼ぐことの大変さを学びながら自信をつけて成長していく姿を見ると

アオーレ長岡でチラシ配布。最初は躊躇しながらも、勇気を出して声をかけていました。



嬉しい」と話します。1年目は子どもたちに商いの楽しさを実感してもらうことを第一にサポートしていましたが、2年目は子どもだけで商いができる力を身に付けてほしいと考えている田中さん。

「地域を長期的な目線で見るとき、20年後30年後を支えるのは子どもたちの世代。その子どもたちが、地域に対して愛着と誇りを持ってくれる取り組みを続けたい。そして、学校では習えない実践的な視点や自立心を学びながら成長して欲しい」。不易流行\*の考えで、新しい挑戦を続ける田中さん。これからも地域の未来を見据え、教育と地域づくりの両面で活動を続けていきます。

\*昔から変わらない本質的なものを大切にしながらも新しいものを取り入れる考え方という意味

## 多分野の団体と協働の輪を広げ複合型イベントを開催

|     |   |
|-----|---|
| 事業名 | アートな HENTAI 万博 2024<br>遊びを極めたクリエイターの文化祭 |
| 実施日 | 2024年2月10日                              |
| 場所  | アオーレ長岡 全館                               |
| 団体名 | アトHEN 実行委員会                             |
| 補助額 | 500,000円 (総事業費 1,946,293円)              |
| 使途  | 会場設営費、企画・演出費、広報費など                      |



アトHENでの出会いが新たな交流や活動につながっています。

- 2023年2月にフォトサークル ASOBI NIIGATA が初開催した「アートな HENTAI 万博」。2回目となる今回は規模を大幅に拡大し、アート展示・体験、ステージショー、雪遊び、飲食などを組み合わせた複合型イベントを企画しました。
- 今回から、子育て・コスプレ・ダンスなど多分野の市民団体と実行委員会を結成。部門ごとにリーダーを置き、協働でイベントを作り上げました。進める中で関係者も増え続け、最終的には実行委員会は40人、ボランティア75人、協賛企業などを含めると500人を超える人が関わりました。
- 初めての協働事業だからこその戸惑いや不安もありましたが、最終的には推計10,000人の来場者、協賛50社を集めるなど大盛況のイベントとなりました。

長岡市未来を創る  
市民活動応援補助金

## 補助金 事例紹介

令和6年度申請受付中

10月実施事業の申請締切は7/22  
申請の際は、事前に協働センターに  
ご相談ください。詳しくはこちら↓



自分たちが積極的に協働の形を作っていく意思を感じました。



審査員



市民活動 | 虎の巻 |

今月の伝授テーマは

### 気をつけよう! SNSへの写真投稿

自分たちの活動を多くの人にとってもらうことは市民活動にとって永遠の課題。誰もが簡単に発信者になれるSNSは積極的に使いたいところです。

#### 市民活動をエンパワーメントするSNS

少し前まで情報発信は、政府やメディア・大企業にしかできない特権的な行為でした。しかし誰もがカメラ(スマホ)を持ち歩き、気軽に投稿できるSNS(ソーシャルネットワークサービス)の略)が発達した現在は、誰もが情報を発信できる時代。市民活動団体も、ほぼ無料で自分たちの声を、広く社会に届けることができるようになりました。

#### 特に多い写真投稿のトラブル

一方で、情報発信によって生まれるトラブルも増えています。「ペンが剣よりも強し」という言葉があるように、情報は時に暴力となることもあります。特に多いのが写真や動画によるトラブル。映像には個人情報(住所や学校・職場など)が特定することは比較的容易です。投稿前に知らない人に見られても大丈夫かをよく考えましょう。

#### 気をつけたい肖像権と著作権

また、知らないうちに誰かの権利を侵害したり、迷惑をかけるケースもあります。特に知っておきたいのは「肖像権」と「著作権」です。肖像権とは「写真を勝手に撮られたり、公開されない権利」です。イベントや街中で撮った他人の顔が映り込んでいる写真は投稿NG。友人であっても必ず許可を取りましょう。著作権は文章や写真・音楽など、「誰かが作った作品に関する権利」です。「宣伝になるから…」と新聞記事や、テレビ番組を撮影して投稿している方を見かけますが、これも立派な著作権の侵害に当たるので気をつけましょう。SNSは免許がなくとも使えますが、最低限の法的なルールやマナーを身に付けた上で活用したいですね。



虎の巻の内容を動画で解説中!

バックナンバーもご覧いただけます